

GRASP - J 2008 年度計画実施報告書および会計報告書 オランウータン保護のための整備計画

日本・インドネシア・オランウータン保護調査委員会
代表 鈴木 晃

はじめに

アジアとアフリカの大型類人猿の保護を目指して設立された GRASP - Japan であるが、8 つあるプロジェクトのうち本事業が唯一、アジアの大型類人猿のために拠出する事業である。オランウータンの保護の問題は東南アジアの熱帯雨林の資源を多く利用する日本人にとっても大いに関係のある問題であり、現地での期待も大きい。とくにインドネシアはオランウータンの生息分布地の約 8 割以上を占める重要な地域であり、この保護の問題に取り組むことは GRASP - Japan としても不可避な事項であると考え。マレーシアへの研究費の投入がこれに代価するといった誤った対応ではなく、今後 GRASP - Japan としてもより一層の理解と協力が望まれる。

クタイ国立公園 (T.N.K) との覚書 (MOU) と関係会合への出席

本事業は 2005 年 1 月にインドネシア森林省、およびクタイ国立公園と当委員会との間でオランウータンの保護に関する向こう 5 年間の覚書 (MOU) を調印し、これに基づいて実施されている一連の事業の一部である。

クタイ国立公園は、ボルネオ島に初めてのインドネシアの国立公園として 1985 年に東カリマンタン州に設立されたオランウータンの生息するインドネシアでも特筆すべき国立公園である。一方、国立公園の境界外北部で操業を始めた石炭採掘会社 (KPC) の活動の影響のもと、国立公園と住民の間では公園設立以来、常に混乱が続いている。国立公園といえども森林保全およびオランウータンの生息地維持には様々な問題を抱えている。中でも最近 (2006 年 7 月以後) の森林の違法伐採はすさまじく、こうした中で、いかに生息環境を保全していくか、MOU のもと関連機関へ働きかけを強めている。2006 年 3 月からインドネシア国は国立公園を今後いかに管理していくかの再検討のために、国会議員 (第 4 委員会所属: 森林担当) を含めた調査委員会を立ち上げ、2007 年からは具体的に対策に動き出したかに見えた。だが実際は、このような動きが今後どのように動いていくか、まだ実像が見えてこないのが実情である。

違法伐採の動きは、国と地方自治との関係と脈絡の中から生まれてきた現象で、1997~1998 年の 2 回目の大森林火災の原因も、この動きと無関係ではないと私はみている。このような事態に対応して、2008 年も 8 月と 11 月に国立公園側と数度に及ぶ会談を重ねてきた。先述の MOU の締結は、そもそも現地の混沌とした動きに対応して、森林省本局、自然保護総局から提

案されたものであって、当時の自然保護総局長 K u s u 氏も署名人の一人であった。しかし、2008 年 9 月には国立公園所長が A g u s 氏から T a n d y a 氏に代わり、これに伴い新所長との間で M O U (覚書)への認識の相違も生じており、今後その調整も必要となっている。なお次年度は M O U の更新の準備も並行して行う予定である。

オランウータンの保護調査のための長期ステーション建設計画の推進

1983 年、1997-1998 年の 2 度に及ぶ森林の大火災の中でオランウータンの利用している森は著しく狭められていると考えられる。しかし 2006 年に実施したヘリコプター調査をはじめとした一連の調査で、森林の要所要所は良好な森として残されていることが判明している。こうした地域でのオランウータンの巣の残存度は比較的高く、良好な手立てを尽くしていくならば、赤道直下の森林として価値ある森として育て上げていくことができる。こうした判断に基づいて上記 M O U は締結され、オランウータンの保護調査活動が続けられている。

具体的な活動

おもな活動は 1、クタイ国立公園内地域、2、緩衝地帯 3、北部石灰岩地域の 3 地域に渡るが、当資金はこのうちの一部、とくに一帯の森林の管理・整備計画に充てられ、前述の国立公園の管理問題を含む国立公園の再編問題、およびこれに関連して北部石灰岩地域での国立公園の新設等に関する事業に取り組んできた（いずれも次年度継続予定）。

会計報告

収入	159,663,865	J M C より 1,900,000 円入金、ルピアに換金
支出		
1、賃金・人件費		
	60,000,000	調査補助員（調査および基地維持管理）
	30,000,000	森林パトロールスタッフ
2、車両賃料・整備費	10,000,000	
3、機材賃料	28,000,000	
4、仮設キャンプ設営費	15,000,000	
5、繰越金	16,663,865	
合計	159,663,865	



2008年8月に開催されたクタイ国立公園内住民集会の会場



住民集会での代表者鈴木への講演。後日の新聞によると国会第4委員会代表は鈴木への講演の内容を支持している。



国立公園内道路周辺の森林が大規模に伐採されている。こうした違法伐採に対し国立公園は取り締まりをしてこなかった。